



みき

中庭で元気よく遊ぶ新入園児(白山幼稚園)

# 三木町 議会だより



NO.

# 111

平成17年4月30日発行

## 3月定例議会

新年度予算決まる……………

2

予算集中審議……………

4

### 一般質問

町政を問いたただす……………

6

議員2人削減

政務調査費交付……………

11

### 決算特別委員会指摘事項

町長はどう答えたか……………

12

まちの声……………

14

三木町議会 編集●議会広報編集委員会

〒七六一〇六九二 香川県木田郡三木町大字氷上三一〇

TEL087(891)3311

三木町HP <http://www.town.miki.g.jp/>



▲ 3月定例議会の模様

# 3月定例議会

## 議員提案

**議員定数2人削減案**  
**政務調査費交付案**  
**(視察研修費廃止)**

**可決!**

新年度予算決まる

一般会計予算総額88億

9,500

(前年度対比5%増)

## 一般会計

補正予算5億3,915万円余を追加

今回の主な補正は、歳入で国の補助金8億3410万円余、町税で4660万円、義援金700万円余などの追加を行うものである。  
 歳出では、災害復旧費を主に追加するものであり、白山の桜の植樹事業は、県の指導を受けて基本設計などの全体構想についての協議が整うまでは事業を一時中止し、計上していた資材費840万円を減額し、同額を調査設計等に計上するものである。

一般質問では5人が登壇し、下水道の事業計画、町財政計画、市町合併問題、自主防災組織、行財政運営などについて町長の政治姿勢や行政運営を厳しくたどした。  
 最終日には、議員提出による議員定数削減案と視察研修費の廃止に伴う政務調査費交付案の2議案が可決された。(11頁に関連記事)  
 今定例議会に提案された議案は、各常任委員会や本会議で慎重に審議されて全議案を原案どおり可決した。

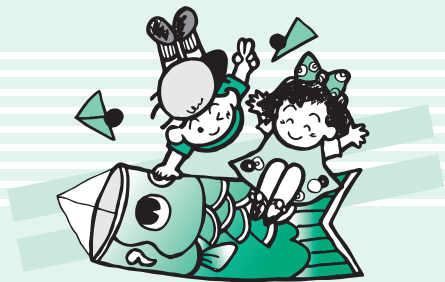
○印は出席

①印は半欠

議員氏名	3/9	3/14	3/15	3/16	3/18	3/23	3/25
三木和則	○	○	○	○	○	○	○
香西義典	○	○	○	○	○	○	○
白井正治	○	○	○	○	○	○	○
三宅貞夫	○	○	○	○	○	○	○
芳岡一美	○	○	○	○	○	○	○
香西俊之	○	○	○	○	○	○	○
古市嘉忠	○	○	○	○	○	○	○
香西茂知	○	○	○	○	○	○	○
西丸一明	○	○	○	○	○	○	○
谷畑健二	○	○	○	○	○	○	○
糸目隆光	○	○	○	○	○	○	○
宮武貞夫	○	○	○	○	○	○	○
谷本サクミ	○	○	○	○	○	○	○
古市弘	○	○	○	○	○	○	○
原田照治	○	○	○	○	○	○	○
筒井米市	○	○	○	○	○	○	○
山本繁	○	○	○	○	○	○	○
溝渕清美	○	○	○	○	○	○	○
中野國義	○	○	○	○	○	○	○
石井定夫	○	○	○	○	○	○	○

第1回定例議会(3月)  
議員出欠表

# 審議案



## 条例を制定

### ◎安全で安心なまちづくり

官・民・産が一体となつて犯罪を発生させない環境づくりを目指し、安全で安心して暮らせる地域社会をつくるものである。



▲警察と地域の連携が望まれる

### ◎個人情報保護

個人情報情報の適正な取り扱いを行うための基本的なルールを定めたものである。

## 条例の改正

### ◎医療費助成に関する改正

乳幼児、母子家庭、重度心身障害者の入院時の食事療養費が、県からの助成打ち切りに伴い支給を中止するものである。

## その他制定・改正された条例の主な内容

- 職員の任免、給与の状況、勤務時間、勤務状況などを広く公表する義務
- 育児又は介護に伴う職員の早出遅出出勤の適用
- 性質上、翌年度にわたり長期継続契約が可能
- 国民健康保険税の応益割と応能割を均衡化
- 新開団地の更新住宅の使用料を改定

## 指定管理者の指定

井戸西土居地区の福祉ゾーンに建設された小規模通所授産施設及び障害児デイサービスセンターを併設した「みきの家」が、4月1日に開所することから、同施設の指定管理者として、社会福祉法人「三木町社会福祉協議会」を指定するものである。



▼「みきの家」の作業所の模様▶



## 工事請負契約を変更

● **工事名** 地方道路整備臨時交付金事業町道三木志度線道路改築工事

**契約金額** 変更前 59,325,000円  
変更後 64,197,000円

**契約の相手** 株式会社 エムケーインデクト

● **工事名** 地方道路整備臨時交付金事業町道三条鹿庭線道路改築工事

**契約金額** 変更前 63,000,000円  
変更後 79,170,000円

**契約の相手** 竹内建興 株式会社

# 審議



▲予算審議で答弁する石原町長

## な 歳出

災害復旧費	6億 245万円余
公債費(借金返済)	9億 416万円余
最終処分場対策費	9,530万円
畜産環境整備補助金	2億3,650万円
白山小学校改造工事費等	2億 360万円

最終処分場  
浸出水運搬費

8,900万円

このままでよいのか

**問** 今までの浸出水運搬費用はどのくらいか。

**答** 環境保全課長

平成15年度は1億1456万円余。本年度は8100万円余かかる予定である。

**問**

浸出水の運搬だけにこれだけの費用をかけるのは無益ではないか。

**答**

環境保全課長

配管の修復が完成したので、今後は地下水として下流に流せるし、処理水のみをためておく貯水槽建築を検討している。そうなるかと、搬出する処理水は大幅に減少すると思う。

**問**

町長として、この問題の解決をどのように考えているか。

**答**

町長

塩江が高松市と合併するまでに、中井塩江町長と協議したい。いずれにしても、最小の経費負担になるよう努力したい。

畜産振興&  
環境整備補助金

2億4,160万円

補助金の中身は

**問**

一部の民間事業者への補助金としては莫大な金額ではないか。費用対効果の観点からどのように考えているか。

**答**

町長

鳥インフルエンザ防止のための施設改善や環境改善対策としての補助金であり、やむを得ない措置と考えている。

中山間地域等  
直接払交付金

2,624万円

費用対効果は

**問**

費用対効果を考えるのと、内容を十分精査する必要はないか。

**答**

町長

僻地の耕作地の維持管理のための助成であり、県からの補助金もあるので有効に使いたい。

東フアクトリー  
パーク助成金

814万円

地元雇用は

**問** 団地内会社へ助成しているが、地元雇用についてはどうか。

**答**

町長

三木町敷地分10区画は契約済みであり、入居工場の優遇措置をしている。なるべく地元から雇用するよう要請をしている。

固定資産税  
増収

+2.5%  
11億2,100万円

なぜ、毎年上がるのか

**問** 土地価格の評価は下がっているのに、固定資産税は毎年上昇しているのはなぜか。

**答**

税務課長

課税評価額に対する前年度課税標準額の割合の全国平均は62%であり、本町は42%でかなり低く抑えてあったので、全国平均までは年々2.5%から5%は上昇していく。

# 予算集中

17年度当初予算 一般会計 88億9,500万円 (対前年度比5.5%増)

## 予算骨子 町長

「構造改革を一層推進するための改革断行予算という基本路線を継続し、一般会計歳出を抑制して実質的に前年度水準以下に抑制してきた従来の歳出改革路線を堅持・強化することに努めた。」

主  
歳入

### 問

内容の見直しは

### 答

町長  
各省庁や財団などに  
有利な補助金がないかど  
うか一生懸命さがしてい  
る。

ふれあいまつり  
関連予算

2,958  
万円

町 税	22 億8,889万円	1.5%増
地方交付税	20 億3,000万円	3.8%減
災害復旧費負担金	5 億2,300万円	
基金(貯金)取り崩し	9 億1,339万円	
地方債(借金)	6 億3,900万円	

### 問

農地の小被災者への救済は

復旧費補助の対象外  
の40万円以下の農家に対  
しては、思いやりの救済  
措置をとるべきではない  
か。

農林水産業  
災害復旧費

5億2,614  
万円

### 答

総務課長  
防災無線は山間部に4  
基設置する計画であるが、  
電波塔の設置については  
業者に要望していく。

### 問

携帯電話では山間部で  
電波が届かないところが  
ある。対処の方法は。

防災メールを個人に送信

防災行政メール  
システム関連

1,540  
万円

三木町を代表するイベ  
ントになっているので地  
域活性化のためにも実施  
したい。

### 答

町長

被害額40万円以下の農  
家には、その25%の範囲  
内で上限5万円をめどに  
補助金を支給するが、今  
一度若干程度ではあるが  
増やしたい。  
復旧工事の関係で周囲  
150m区域外の小被害  
は国の査定外となってい  
る。

その他の質疑

- ◎新開住宅査定委託料
- ◎白山小学校耐震工事
- ◎三木中学校改築工事
- ◎南部高齢者保健施設
- ◎広域消防費負担と行方
- ◎特別職報酬等審議会
- ◎商工会補助金
- ◎介護者手当・紙おむつ  
の支給実態
- ◎農道補修材料

## 特別会計等の当初予算

国民健康保険事業特別会計	22億9,180万円
有線放送電話事業特別会計	8,570万円
老人保健特別会計	32億9,250万円
簡易水道事業特別会計	960万円
農業集落排水事業特別会計	6 億9,150万円
介護保険事業特別会計	20億1,260万円
公共下水道事業特別会計	5,090万円
水道事業会計	
収益的収入	5 億 13万円
収益的支出	4 億9,656万円
資本的収入	1 億9,271万円
資本的支出	3 億2,625万円

# 質 問 一 般

## 町政を問いただす



香西 義典 議員

### 公共下水道終末処理場の用地は

#### 答 当初の位置を変えて考えている

高松市長は、三木町の下水道整備は、現段階では到底理解は得られないと述べているが、以後の交渉は進んでいるか。

町長

高松市の考え方、また、市長自身の考え方など何回も会い、市長自身の考え方などをついでもただしたが、現在、三木町が考えている位置では見通しがないと私は判断し、次の場所へ、若干上流側に変更した方が合理的であるため、また、地区の理解を得やすいと思っ

新たな処理建設用地については、既に当初の建設予定地の右岸側に計画し、交渉はどのような状況か。

町長

新しい候補地は慎重に進めてまいりたい。その候補地については、既に調査を終え地権者に打診も行っていることから、町の下水道推進特別委員会において報告をし、検討すべきでないか。

町長

その時期が来れば委員会で審議し、いろんな意見をいただき、最も大事な下水道処理施設ですから慎重に進めてまいりたい。

町長

処理場用地の位置について公共下水道、農業集落排水の処理場の位置が近接することが想定されるが、経済性、各施設の特長など、総合的勘案の上、地域の実情に応じた適切な位置選定が必要と思うが。

他の質問

- 国民健康保険被保険者証のカード化について
- 高齢者高額医療費償還の徹底について

町長  
下水道を取り巻く財政環境は、極めて厳しい財政状況であり、香川県においても農業集落排水についても公共下水道についても、ある程度県の助成措置が今なら受けられ将来の見通しとしては、極めて期待が薄い状況の中であるだけに、この機会に積極的に取り組んでいくところである。

高松市との対応について？

町長

いたしている。

当初の処理場の建設用地の地権者には処理場用地撤退の通知は済ませているか。



▲生活排水処理施設の効率的・計画的整備が待たれる(鴨部川浄化センター処理施設)

# 三位一体改革と本町の財政計画



山本 繁 議員

## 答 自主財源を持続可能なものとする

今日、国の進める「三位一体の改革」は、国が地方への財政支出削減を目標とするものであり、特に福祉・教育など住民サービスの水準切り捨てを具体化しようとするものである。これは「市町村合併」という形で進めていることに象徴されている。

言うまでもなく、三位一体改革は、国庫負担金の廃止と縮減、地方への税源移譲、地方交付税の「見直し」の三本柱である。この間、義務教育費の負担の廃止をめぐる与党内部の激突など、今日、日本の政治は、財界本位、経済・財政諮問会議（竹中平蔵大臣、奥田碩トヨタ自動車会長等を中心とする）において、政治が動かされていることは言うまでもない。

憲法改正、社会保障の見直し、消費税大幅引き上げなど、この諮問会議が中心となって進められていることに最大の問題があると思うが、町長の所見を承りたい。

町長

三位一体改革における平

成17・18年度の具体的な内容は提示されていない。不透明な部分もたくさんあり問題を残すものとなっており、本町は、自主財源を持続可能なものとして努力したい。

### 身体障害者等医療費給付償還方式から現物給付へ

今日の障害者等の公費負担制度は、患者団体の切実な声によってできている。障害者は、病気の治療や軽減や進行を防ぐなどの意義があり、障害故に一生通して伴うものである。従って、医療費を値上げしたから治療を止めるわけにはいかない。

さて、本町における身体障害者等の複雑な※償還給付方式をぜひとも※現物給付にしてほしいと考える。既に県内の市や町で実施している方式をぜひ実現方をお願いする。

町長

償還払いから現物給付へ切り替えるためには医療機関との調整もあり、関係者と十分に調整を図りながら検討したい。

### 限界にきている

#### ごみ問題

ごみ問題は依然として深刻であり、大量消費、大量廃棄の社会で、これに要する町の負担は極めて大きいものである。生産者責任を明確にした取り組みが大切である。

大量廃棄型から循環型社会への流れに従い、本来の立場に立つべきと考えるがどうか。

町長

より環境への負荷が少ない商品やサービスを導入することなどにより、ごみ排出量の減少に向かっていくものと考えられる。

#### ※償還給付

患者が医療機関で自己負担額を支払った後、町へ医療費の申請を行うことで、自己負担額がかえってくる仕組み。

#### ※現物給付

患者が医療機関で自己負担額を支払う必要がなく、町が医療機関に自己負担額を直接支払う仕組み。



▲手続きが複雑な償還給付方式

# 質問一般

## 町政を問いただす



西丸 一明 議員

### 合併反対の姿勢に 変化はないか？

答  
合併はしない

高松市と周辺6町との合併が進み、来年1月には新高松市が誕生する。

「合併せず単独で行く」との従来の考えに変わりはないか。

町長

人口が多ければよいというものではない。

大きくなったらサービスが低下し、町民の幸せや財政運営がかえって難しくなる。

町民の声に耳を

傾げるべきではないか

町長は「合併反対」の声しか聞こうとしていないのではないか。

私には「合併賛成」の声も

たくさん聞こえてきている。

町民の声を聞くようなアンケート調査などの方法はとらないのか。

町長

町制50周年記念式典の折の町民の声は、ほとんどが「このままでよい」とのことであった。

他の信頼できる人などにもつぶさに意見を聞いている。町民本位の行政に心がけているが、その人たちも「合併はしなくてよい」と言っている。

このような真剣な意見に耳を傾けたい。

住民投票の評価は

香川町、国分寺町で行われた住民投票の結果、合併賛成が過半数を超えた。この結果についてどのように考えるか。

町長

本町とは人口規模も構成内容も異なる。

昭和の大合併の時に井戸地区で分裂騒動があった。あの時の二の舞だけは避けたい。

具体的なまちづくりを示せ

合併しないのであれば、具体的なまちづくりの主要な施策を示すべきではないか。

町長

私の政治手法は皆と同じこととはしない。

時代を先取りし、人より先に有利な制度や補助金を探し求めて、町民本位の町政をしていく。



▲高松市と周辺町との合併が進んでいる

# 今後の防災計画は？



芳岡一美 議員

## 答 まず自主防災組織をつくる

### 防災計画について

昨年、香川県においては台風による風水害、高潮災害と甚大な被害を受けた。香川は安心、三木町は安心という考えは根底から覆された。今後の三木町の防災計画について伺う。

町長

今年を防災元年と位置付け、三木町地域防災計画を作成し、具体的な防災マニュアルを住民に示していく。緊急連絡手段として携帯電話によるメール通信システムの構築、自治会による自主防災組織を夏までには立ち上げたい。

河床が上がっており大変危険な状態である。今後の河川関係の改修計画はどうなっているのか。

池などの放流方法の判断は誰がどうするのか実態を伺う。

町長

今年も台風襲来あるものと考え、早急な河川改修を県に

要望している。

台風時の放流について池担当者に要望はしているが、水系により水事情が違う。今後、池管理者と協議をしていく。

自主防災組織の必要性と組織のつくり方について伺う。

町長

震災・水害など大規模災害から身を守るためには、自分たちの地域は自分たちで守るといふ考えが大切である。三木町内においても自主防災組織づくりの動きがあり、職員の派遣など積極的に協力していきたい。



▲早期の復旧が待たれる河川(吉田川)

自主防災組織による救助活動にも防災資機材などの整備が必要と考えるが予算計上は。

総務課長

17年度予算計上してはいないが、いろいろな角度から考え、今後検討していく。

他町の合併に伴い※讃岐地区広域消防組合はどうなるのか伺う。

町長

昨年8月に6町の町長・議長と今後のあり方について協議をし、現体制を維持することを確認している。高松市へもその旨申し入れをしている。

しかし、相手があることである。先行き不透明である。

職員の給与について、現状※ラスパイルズ指数が県内では下から2番目である。この夏人事院勧告で引き下げがあればどうするのか。これ以上下がれば仕事に対する意欲にも影響する。

町長

給与が低いのは、過去に原因がある。意欲のある職員には傾斜配分していく。慎重に進めていく。

厳しい財政状況の中、議員報酬、町三役の報酬を含めた検討を※報酬審議会に諮問すべきではないか。

町長

県知事も県幹部も下げた。私も下げることやぶさかではない。報酬審議会の理解を得なければいけない。貴重な意見として承る。

※讃岐地区広域消防組合

塩江・香南・香川・庵治・牟礼・三木町の6町で組織し、三木町に本部、牟礼・香川町に分署、塩江町に出張所あり。

※ラスパイルズ指数

国家公務員を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数のこと。三木町は86・4。

※三木町特別職報酬等審議会

町長が議員報酬、町長、助役、収入役、教育長の給料の額に関することを諮問する会議。

# 質問一般

## 町政を問いただす



原田 照治 議員

### 今後の行財政運営について

**答** 熱意と情熱を傾注して奮闘する

三位一体の改革では、地方交付税の大幅な削減が避けられない情勢となっており、受給削減や負担増の年金改革が進められている中、今後の行財政運営の指針を示せ。

**町長** 政治姿勢における行財政運営につきましては、平成17年度に第4次三木町振興計画の前期基本計画の仕上げの年であり、「人と自然にやさしいまち・三木」の理念にのっとり住民一人ひとりが暮らしやすい町の実現のために、熱意と情熱を傾注し、奮闘してまいります。

また、社会経済情勢の変化に即した適切な措置を講じて、効率的で効果的な予算の執行に最善を尽くしていく。

子育て支援の強化・充実を

少子化対策の中で、延長保育、学童保育の拡充など子育て支援に対する町長の見解を伺う。

**町長**

安心して子育てできる環境づくりとして、乳児保育、延長保育、一時保育、障害児保育などの特別保育サービスを引き続き実施し、子育ての家庭に支援をしていく。

また、幼稚園・保育所の一元化につきましては、県下の動向を見極めて判断したいと考えている。

介護予防の対策は

介護保険制度が見直しされている中、介護予防対策に

する今後の指針、また具体的な施策を示せ。



▲安心して子育てできる環境づくりを(下高岡保育所)

者保健福祉計画」を見直すことになっており、介護保険対象者の理解が得られるよう慎重に進めていく考えである。

また、高齢者が健康で生き生きとした老後生活が送れるよう介護予防に努める。

守られるべき大切な命である

学校安全対策の基本的な考えを示せ。

古市教育長

校内危機管理体制の見直し、防犯教室など教職員・幼児・児童・生徒の危機管理意識の向上に努めている。

今後とも警察等関係機関の協力を得て、学校安全や不審者の出没しにくい環境づくりを努めてまいります。

**町長** 介護保険料は、急速な高齢化によって、介護サービスの利用の増加や介護給付費の増加などにつながり、財政の均衡を保つため3年ごとに見直すことから、17年度に介護保険事業を含めた「三木町高齢

# 委員会 レポート

議会の閉会中に開会され、  
主要な案件などを調査・審議  
をするものである。

## 教育 民生

### 一般廃棄物最終処分場の

### 修復工事現場視察

#### 環境保全課長

浸出水の運搬処理費用に  
ついては、平成16年4月か  
ら17年1月末までで725  
5万円余となっている。

#### 問

塩江町との協議はどうか。また高松市と合併した場合の対応をどうするのか。

#### 答

環境保全課長

11月30日資料を見せ説明修復後は地下水は自然放流できるよう交渉している。高松市と合併すると協議は難しくなると考えている。

#### 問

畑などへの影響調査をやってはどうか。

#### 答

環境保全課長

調整池の水を使つての実験は続けており、麦については影響は出なかった。

## 建設 経済

### 将来の水需要増加に

### 対応のため池戸配水池を築造

池戸・井上地区への水道用水の安定供給を図るため、池戸深谷地区に新規に池戸配水池を築造する。

#### 問

当配水池により、高台地区の水圧は改善されるか。

#### 答

上下水道課長  
当配水池ができることにより、一部を除き水圧が高くなるかと考えている。

## 議員2人削減

(全員協議会)

1回目の各議員の意見は、バラバラであり、中にはまだ議員削減に反対の議員がいるなど意見の集約には程遠いものであった。

続いての2回目の協議は、数時間にわたり、それぞれの主張を戦わせたが進展はみられなかった。

2人削減が7割を占めたが、議会に関する問題であると同時に議員の身分に直接係わるため、あくまでも全員一致が望ましいとの判断から、さらに議論を重ねた結果、2人削減で新定数を18人とすることに大筋で合意した。

本定例議会に議案提出され、最終日に採決されることになった。

(全会一致で可決)

## 政務調査費交付

常任委員会視察  
研修費を廃止

行政に対する議会の批判・監視の役割を充実させるには、議員一人ひとりの資質の向上が必要である。

## 議員提案

議員の政策立案・議案提出の能力を高めるために、調査研究するための必要な経費を定められた基準に応じて議員個人に交付し、残余がある場合には返却しなければならぬ。これが政務調査費である。

透明性をもたせるために、使途は議員活動目的の支出に限られ、訪問先資料、全ての領収書等を添付し収支報告を提出しなければならない。

従来の使いきり視察研修費と違って、残余が出た場合は、その残余を返還することになる。

(賛成多数で可決)

## 請願・陳情のゆくえ

平成17年陳情第1号  
2月28日 提出者

●墓苑用地拡張に関する陳情書  
鹿伏東自治会長 北 多田 均  
同 南 中山 明(教育民生常任委員会へ付託)

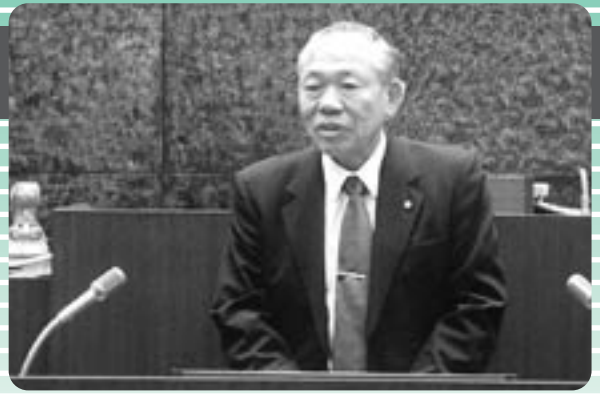
平成17年陳情第2号  
2月17日 提出者

●「食料・農業・農村基本計画」見直しに関する意見書採択を求める陳情書  
食とみどり、水を守る香川県民会議 議長 三好義光(建設経済常任委員会へ付託)

平成17年陳情第3号  
2月17日 提出者

●WTO・FTA交渉に関する意見書採択を求める陳情書  
食とみどり、水を守る香川県民会議 議長 三好義光(建設経済常任委員会へ付託)

# えたか？



昨年10月の決算特別委員会での審議の結果、7項目について次年度への対応を提言したことに對して、町長から今後の取り組みについての報告があった。

**有線放送電話廃止後の新規通信網と自主防災体制の早期構築を図りたい。**

新規通信網については、電波不通信帯となっている大字奥山地区に3基、大字朝倉地区に1基、計4基を平成17年度に新設の計画をしている。

緊急連絡方法として、消防団員全員の自宅又は携帯電話に連絡するシステムの構築を予定している。

住民への情報伝達として、携帯電話を活用して火災情報、台風情報、避難勧告等をメールで連絡する方法を検討している。

自主防災体制の早期構築については、集落単位で早い時期での組織率向上を目指し各地区の説明会を実施していく。



▲自主防災組織結成促進講演会の模様(2月20日文化交流プラザ)

**町単独補助金及び委託料の行政効果を精査して経費節減に努められたい。**

町単独補助金については、各種団体に3カ年の決算書の提出を義務付けて、その内容を精査し、補助金の額を超える繰越金のある団体は、大幅な削減措置をとる。  
委託料については、指名競争入札の実施、見積書の提出を厳守して公正、低廉な価格の契約とする。



▲井上北部地区の処理施設

**公共下水道、農業集落排水事業は、補助制度を活用できる期間内に立案されたい。管理運営面では、供用開始後、3年以内に対象全戸加入に努められたい。**

補助制度を活用できる期間内の計画立案については、国の今後の補助方針は極めて流動的であり、分析した上で早期完成の事業計画に取り組む。  
供用開始後の対象全戸加入については、加入促進活動を行っていく。

**町税、住宅使用料の滞納の収納率向上に努められたい。**

税務課職員の徴収事務能力の向上を図るため、実務研修会へ積極的に参加させている。

また、「木田香川地区滞納整理組合」に徴収事務を移管して、収納率の向上に努めている。

滞納常習者には面談の上、納付指導を行っているが、悪質な滞納者には法的手段の検討もしている。

**放課後児童健全育成対策及び幼児保育成対策は、時代の要請に對應されたい。**

放課後児童健全育成事業は現在5クラス、140名が利用しているが、今後は対象人数の拡大、保育時間の延長、障害児への対応等取り組みたい。  
幼児保育成対策については、延長保育、一時保育、乳児保育など特別保育事業に努める。

7項目

町長はどうか

各公共施設及び未利用地の管理、運営状況の利用促進を図り、適正な管理運営に努められたい。

各公共施設は、幼児から高齢者誰もが気軽に利用できる「生涯学習社会」実現のため、地域住民の学習ニーズを的確に把握し、学習の機会を提供していく。

町有財産の未利用地は、有効な活用方法を模索していくが、近未来にわたり、活用の



▲定員オーバーの平井児童クラブ



▲高松東署西側の未利用地



▲世代間交流が盛んなウォーキングセンター

見込みがない物件は競売等によって処分することを考えている。

生活道路の未舗装道の解消と山間部路線及び計画路線（町道上池荒木線起点から南へ県道小菘前田東線、砂入交差点までの区間など）の整備充実を図られたい。

町道上池荒木線と県道小菘前田東線を接続する道路は、測量を完了しており、長尾土木事務所との交差点協議に入っている。今後は地権者の承諾を前提に進展させていく予定である。

町道の未舗装、山間部路線の整備には、これまで同様、補助制度を考慮しながら取り組みたい。



議会の動き

25	23	18	16	15	14	11	10	9	3	2	28	17	16	10	26	28	20	17	18	1	11
議会運営委員会	本会議	本会議（一般質問）	本会議（当初予算の内容説明）	本会議（当初予算の内容説明）	本会議（補正予算の内容説明 質疑、討論、採決）	本会議	建設経済常任委員会 教育民生常任委員会	総務常任委員会	議会広報編集委員会	（議案の上程）	議会運営委員会 第1回定例会開会	全員協議会	教育民生常任委員会	建設経済常任委員会 全員協議会	特別委員会視察研修	総合福祉施設整備促進	議会広報編集委員会	視察研修	教育民生常任委員会	議会広報編集委員会	

# 公民館活動について



田淵 稔さん  
(下高岡)

現在住んでいる下高岡に来て11年になります。

近くには、ウォーキングセンターがあり、町内のウォーキングコースの拠点施設として、モデルコースの地図や休憩室、シャワールームも完備されています。また、この施設は地区公民館としての役割も併せています。

このセンターでは、趣味・文化教養など26のグループが定期的にウォーキングの企画と活動をしています。私は、この中の陶芸グループに所属し、月2回の練習と毎年近隣の窯元見学を楽しみ、同好の地域の人とともに活動をしています。なかなか上達はしませんが、5年ほど粘土遊びを続けています。

このほか、センターでは、実行委員会を組織して、毎年地域の多くの方々に呼びかけ、2月に発表会と8月に盆踊り大会を開催し、グループだけでなく地域の方々との楽しい交流の機会もあります。

このように町内各地公民館では、様々な活動が行われていますが、まだまだ知らない人が多いのではないのでしょうか。

身近にある各公民館活動を町広報誌などで紹介することによって、町民の方が公民館活動に関心をもち、一人でも多くの人が「健康で生涯学習を楽しむ」生きがいづくりに参加できるようにするのはないでしょうか。

それがまた、公民館活動の活性化に役立つのではないかと思います。

## 自治功労表彰に

### 糸目議員

地方自治の振興に功労があったとして、香川県町村議会議員会自治功労（在職10年以上）に糸目議員が表彰され、その伝達が、3月9日、本会議場で行われました。



糸目議員

## お気軽に議会を傍聴しませんか？

本会議の傍聴人の定員は、30人となつていますが、当日の午前8時30分まで傍聴希望者が30人を超える場合は、抽選を行います。次の定例議会は6月中旬の予定です。

## 視察

### 研修報告

#### 教育民生

当委員会は、1月17日から18日の2日間で、鳥取県の北条町と琴浦町を訪問した。北条町では、住民主導の総合地域スポーツクラブを設立し、全ての住民が気軽にスポーツに参加できる環境づくりについて取り組んでいる現状を研修した。琴浦町では、町内路線バス運行の取り組みについて研修をした。我が町でも障害者や高齢者の皆さんから公共交通機関の必要性が求められている。

## 総合福祉施設整備促進

今春の4月にオープンした井戸西土居地区の「みき山荘」「みきの家」の管理運営の調査のため1月26日・27日に茨城県と埼玉県の施設を訪問した。茨城の特別養護老人ホームには療養型病院、老健施設、授産施設などが併設されており、本町の総合福祉ゾーン構想に大いに参考になった。

## 編集後記

春の訪れとともに町内南部地区では「今年は米が作れん」「田んぼがでかん」「食べる米を買わないかん。百姓やのに情けない」などという会話があちらこちらから聞こえてくる。一刻も早い復旧を願うものである。それにしても憎らしい異常気象の四文字暖冬との予想に反して厳しい寒さが続いたせいか、桜の開花が例年に比べて少し遅れ気味。見事桜を咲かせた受験生の皆さんおめでとう。夢と希望をもって頑張ってください。3月定例議会は、新年度予算や議員定数を削減する条例改正案など全ての議案が可決され17日間の幕を閉じた。厳しい財政状況の中、大切に執行してもらいたい。8名の現メンバーによる編集・発行は今回で最後となりました。他の方々の足手まといにならないようにと努力したつもりですが、ゴメンナサイ。新メンバーに大いなる期待を持って終わります。

(K・M)